

# まだらの風



まだら島 戦争遺跡の調査を行いました

令和8年 2月26日  
学校便り No.20  
校長 原口 真

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』  
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

教育委員会の方から馬渡島の戦争遺跡が取材されていることを教えていただきました。唐津市生涯学習文化財課が調査を行っており、NHKでも2月に放送されたとのこと。平和を考えるうえで貴重な文化財になりそうです。

## 餅つき会～受験に「ねばり強く」の願いを込めて～

2月13日、餅つき会を行いました。中学3年生が受験にねばり強く取り組むことを願っての生徒会による企画です。蒸したのもち米を石うすに入れ、合い取りをしながら杵(きね)でついていく伝統的なやり方です。釣場さんがリーダーとして指揮を執り、もち米を蒸す時間やあんこ玉、砂糖、しょうゆ、きな粉の準備など必要な活動を自分たちであらかじめ計画しておきました。杵で一生懸命ついた餅はとてもやわらかく、あんもち、砂糖じょうゆ、きな粉もちなどどれを食べても「おいしい！」の声であふれ、受験生もたくさんの元気をもらったことでしょう。



## 学校評議員会開催～学校運営に地域の声を活かして～

2月17日、地域の富永さん、牧山さん、牧山さんにお越しいただき学校評議員会を行いました。まず、音楽室で子どもたちが卒業式歌練習に一生懸命取り組む様子を見ていただきました。続けて、今年度馬渡小中学校が取り組んできた活動についてご意見をいただきました。



自己調整学習を中心にした学力向上、道徳教育や体験学習を通した心の教育、縦割り遊びも活用した健康・体づくり、小中・地域連携における年間を通した取組みや情報発信について高い評価をいただきました。また、昨年度の課題だった教職員の働き方改革の推進についても改善の取組みを評価され、更なる努力を続けるようにとの励ましをいただきました。今後も子ども育成の充実と業務改善の両立を目指して学校運営を進めていきます。

## 卒業式に向けて～歌声に思いをのせて～

3月6日の卒業式に向けて式歌練習が進んでいます。式歌の「大切なもの」は、学生として過ごした大事な時間を振り返って、一緒に過ごした時間がその後の人生でどんな意味を持つのかを考えさせてくれる歌です。全校児童生徒14名がソプラノ、アルト、テノールの3部合唱で歌います。各パートそれぞれの難しさがありますが、練習を重ねるごとに一体感が高まり美しいハーモニーが響くようになってきています。卒業式当日は最高の歌声で小学6年生、中学3年生を送り出してくれると思います。



## 武道を学ぶ～少林寺拳法を体験しました～

2月下旬、中学校保体では武道として本校の宮原先生から少林寺拳法を学んでいます(宮原先生は佐賀県代表として全国大会にも出場している県有数の実力者です)。少林寺拳法がどんな武道なのかを知り、みんなで少林寺拳法を楽しむことを目標に、礼儀・号令・構えを学び、護身技の練習も体験しました。生徒たちは初めての拳法体験に興味津々で緊張しながらも笑顔で活動していました。この学習を通して少林寺拳法の「自己確立」「自他共榮」の精神を学んでもらいたいと思います。



2月9日に唐津市上下水道局濁水対策本部が設置され、必要な応急対策が検討されています。2月24日現在で馬渡島の貯水率は92%で今週は雨も降りますが、長期的にみると6月中旬に濁水になるとの予測が出ておりプールなどの活動に制限が出る可能性があります。学校でも節水に努めていきます。

